

2021年1月31日

県陵東京同窓会
令和2年度第3回合同幹事会 資料

「第54回東京同窓会総会・懇親会」に向けて（案）

第54回東京同窓会実行委員会
実行委員長 濱田 和弘（高43回）

基本方針：オフライン・オンライン両建て

■オフライン（アルカディア市ヶ谷）

日時場所：2021年6月12日（土）午後 富士の間

○会場セット

コロナ仕様 MAX216名 6人/卓×36卓（通常10人/卓のところ）

会場からのお薦め 162名 6人/卓×27卓（実施2019年は10人/卓×25卓）

⇒案：120人 6人/卓×20卓 or 5人/卓×24卓

○会費 10,000円

収入 会費 120万円 支出 飲食 120人×@7100*）=85.2万円

+α 5万円

経費 7万円（松本からの来場想定なし）

会場費 10、案内費 3、イベント 10、資料印刷等 8、雑 9

*）「個々盛スタイル」：6,700円（ドリンク限定）～7,100円（ドリンクフリー）/人

■オフライン開催中止の場合 中止判断の会場通告リミットは4/11（月）

参加予定者への中止通告の期間、および次項会報制作編集に余裕を持たせる観点から 4/8（水）をもってオフラインの開催可否を判断したい。

- ・開催日2か月前（4/12以降）のキャンセルはキャンセル料が発生する。
- ・状況を見て1～3か月後ろ倒しは可能であるが、順延開催は基本的に考えない。
∴順延開催の案内の手間、実行委員及び関係者疲弊
中止の一斉連絡をするのであるから、順延開催の連絡も不可能ではないが、順延した際、その日は都合がつかず欠席となる方の定員補充抽選、連絡は非常に大変。
- ・オフラインを中止する場合オンラインは残す。
⇒オンラインを残すとすれば、これは昨年ない第3の道であり、これについても会報あがたで告知する必要があり、昨年以上に煩雑。

■オンライン（ZOOM）とオフライン(規模縮小)とのハイブリッド

ネット：市ヶ谷～松本～その他拠点？～個人

会費：無料 但し、一口1,000円の志を募集

- ・「その他拠点」（教育会館とか？）はあるとよいが、同会場の飲食、参加者管理、アテンドはかなり困難。ゆえに「その他拠点」は同好の士が任意に会場、酒肴を段取り頂き、ネット上でつながるだけにする。
- ・オンラインならではの企画とは。
- ・オンラインによる総会はどのような形か。

■総会・懇親会の案内

出席 | しない

| する | 市ヶ谷（会費支払いは当日持参のみとする）
| | オンライン（志の振込みは登録申込み時）

○開催方法を周知すること（会報あがた、同封のはがき、HP）

「アルカディア市ヶ谷の会場は120人を定員数とします。ご来場者希望の申し込みが120人を超えた場合は抽選とし、結果をご連絡します。選に漏れた皆さまにはオンラインでの参加をお待ちします。」

○ご連絡先（必須）

メールアドレス

電話番号

「オンライン（ZOOM）の場合メールアドレスが必須ですので、わかりやすく、読みやすく表記下さい。」

■スケジュール

<4/8をもって、オフライン開催とする場合>

・申込みは、従来通りはがき、「縣陵東京ネット(HP)」からとする。

返信期限：5/21（金）or28日（金）はがきの消印有効

・返信用はがきにメルアド、電話番号を記載頂くので、個人情報保護のためのシールを検討する。

○抽選 5/25（火）or6/2（火）

| 抽選結果の連絡（メール主、電話従）

6/1（火）or6/5（土）

| 名簿づくり（コピーを可とする）

6/12（土）当日

○「会報あがた」対応（例年「愛のリレー」に合わせて納品。今年は未決定）

・4/13（火）入稿

<4/8判断オフライン市ヶ谷中止、オンラインのみの場合も4/13入稿で告知>

・オフライン申し込みはどのような形になるか？

・ZOOMに定員あり？数百人一堂に会すは難しい？

■課題

・アルカディア市ヶ谷定員120人に達しない場合

⇒確定は数日前（要確認）でいいので、定員割れしてもリスクは低い

・（オンラインを想定して）メールアドレスがない方をどうするか

⇒できれば第二会場（その場合の飲食は？）

オンラインのできる親しい方と一緒に（場所は随意で）

・市ヶ谷開催してクラスターが発生しないか。万一発生した場合の想定をしておく。

対外的に説明する、あるいは取材を受けてしまう場合、その対応責任者は？

学校に問い合わせがいく場合の対応を決めておく必要

⇒「東京同窓会」としての挙行。個人名は出さない。リリースは団体名で。

・HPへの載せ方

⇒佐原さんと密に連絡をとる

・総会の扱い

⇒アルカディア市ヶ谷で通常通りとする。

・オンラインZOOMのみとした場合の拠点・メインになる会場は必要

- ・ オンライン実行する場合、「会」として最低限の企画が必要。昨年のように寄付一本とは異なり、実行委員の「企画」に関する負荷が高くなる。
∴負担軽減できるところはしたい。例えばオフラインの中止判断をぎりぎりではなく3月上旬には下してオールオンラインに傾注してもらおう、等。